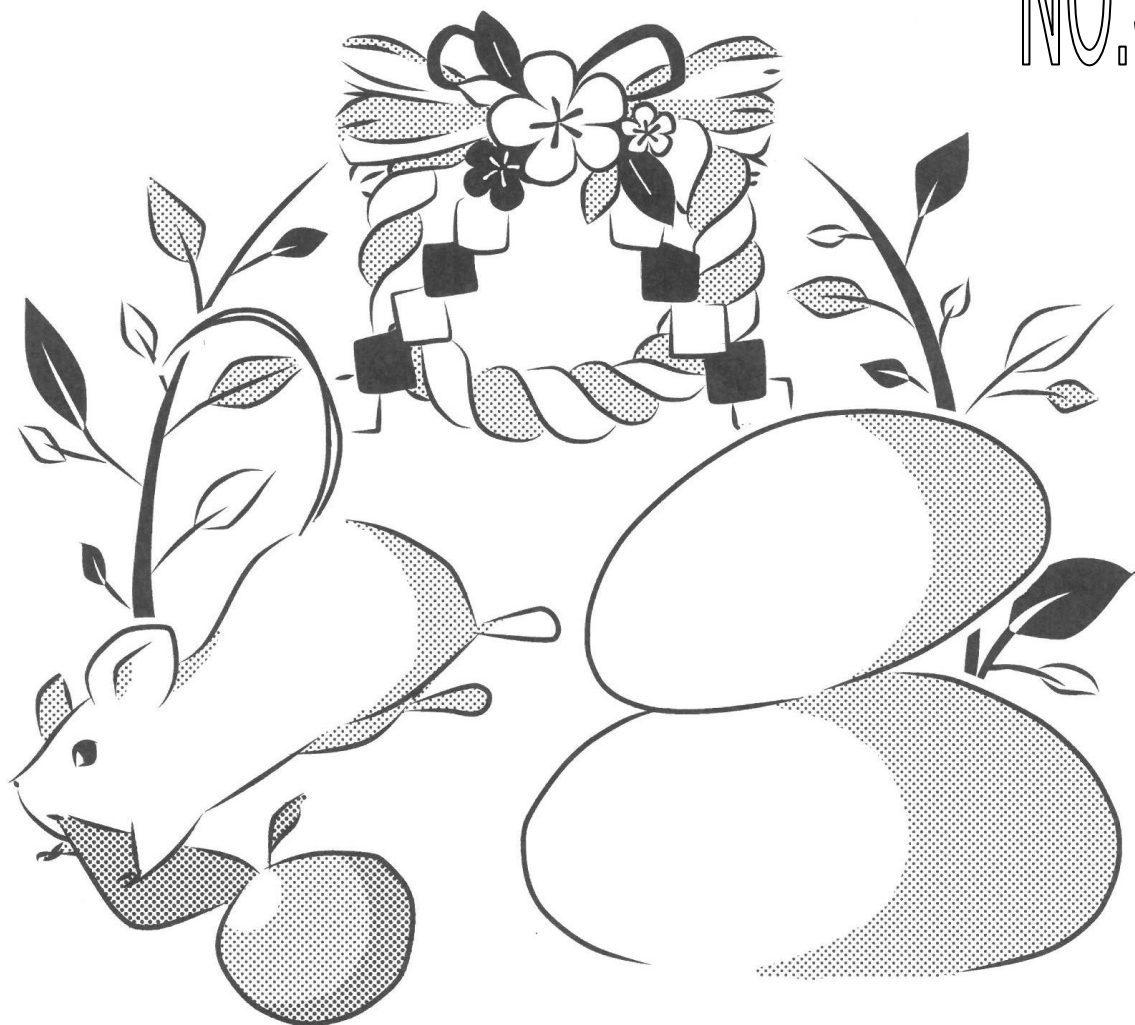


# SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

# われら同胞

NO.57



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 新年のご挨拶
- 3 p あゆみ会紹介
- 4 p 賛助会コーナー

# 年 新 賀 謹

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念いたします。平素より、はらからの家福祉会の諸事業に御支援と御協力を賜り、心からの感謝を申し上げます。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催の年ですね。7月には聖火リレーが国立から国分寺を通って小平へと走っていくそうです。思い返せば、オリンピックの東京開催が決まってから、ロゴマーク問題、国立競技場設計白紙化騒動、暑さ対策、お台場の水質、渋滞問題、膨大な開催関連費用…、様々な問題が取りざたされてきました。まだまだ解決していないこともあるようですが、大過なく大会が開催されるよう祈るばかりです。せつかく来るのなら色々と「よかった」と思えるオリンピック・パラリンピックであってほしいですね。



国分寺市はベトナムのホストタウン・共生社会ホストタウンに指定されています。共生社会ホストタウンというのは、海外の障害のある選手を迎えることで、日本の目指す共生社会の実現に向けて意識を変えていくきっかけにするものだそうです。オリンピック・パラリンピックの開催やホストタウンの経験で、この東京は、国分寺はどう変わっていくのでしょうか。国際的な交流を契機に、日本がより多様性を認めあう社会へ成長し、国分寺が誰にとっても、より住みよい地域へと成長していけるといいなと思っています。

当会もその一助となるべく、今年も活動に邁進してゆく所存です。今後ともお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年 元旦

社会福祉法人はらからの家福祉会

理事長 藤田英親

## 国分寺あゆみ会紹介

国分寺市にある精神障害者の家族会で、1973年に発足しました。東京つくし会（東京都精神保健福祉家族会連合会）に所属しています。活動の柱は4つ、①毎月の「定例会」の開催、②「あゆみ会ニュース」の発行、③ピュアハートの実施、④相談会の開催です。

①定例会では、活動報告や情報交換が中心。各自の経験を話し合ったり、アドバイスをしたりしながら親睦を図っています。

②あゆみ会ニュースは、活動報告、勉強会やイベントの案内と報告、最新情報などを載せています。

③ピュアハートとは、当事者の自立支援事業で、カラオケ、散策、ボーリング、クリスマスなどのイベントを行っています。

④相談会は月2回、和やかな雰囲気でもなんでも相談でき、福祉・医療などの専門家（後述の「はらから」・「すずかけ」）のアドバイスも受けることができます。

どんなことがあっても「私たち家族はやっぱり元気です！」を合言葉にしています。

会の運営に際しては、（社福）はらからの家福祉会、国分寺すずかけ心療クリニック等より、学習、研修や広報活動等についてご協力をいただいています。

### 「あゆみ会」2019年の主な活動（●は独自事業、○は参加）

- 1月●新年会：食事、歌、ピアノ演奏や手品、紙芝居を楽しみました。
  - あゆみ会ニュースの挿絵展覧会：原画の展覧会を障害者センターで行いました。
- 3月●講演会：講師は羽藤邦利先生。日頃質問できない事柄を丁寧に答えていただきました。
- 5月●ピュアハート：当事者の自立支援事業（居場所作り）。5月はカラオケ。
  - バスハイク：障害者・家族・支援者等のバス旅行。上野動物園などを回りました。
  - 定期総会：2018年度の活動報告・決算、2019年度の活動計画・予算など。
- 6月●見学会：国立ハンセン病博物館（東村山全生園）を見学しました。
- 10月○運動会：玉入れ、パン食い競争など。「ボッチャ」の体験などもありました。
  - はばたけサンサンゆめまつり：ポップコーン、アクリルたわしなどを販売しました。
- 11月●ピュアハート：日立中央研究所の庭園の散策。当事者・家族の交流が図られました。



新年会（手品）



はばたけサンサンゆめまつり（模擬店）

# はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っております。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただきます。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください（同封の振込用紙も使えます。）

## 郵便振替口座番号

00180-8-130179

加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただきます。

匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。

## <平成31年度8月から10月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様（順不同 敬称略）>

荒井 東治    石井 正義    上柳 明子    岡本 公子    柏木 昭    川島 章子    小松 友恵  
佐藤 佳子    須長 三郎    高田 守    塚田 ひとみ    中田 有智子    中村 典男    藤田 綾  
藤田 英親    松本 紀久代    宮内 禮子    森田 忠男    山内 慈水    山岸 琴美  
ケア・センターやわらぎ    国際ソロプチミスト国分寺    にしの木クリニック    匿名1名

はらからの家福社会ホームページ

<http://harakaranoie.com>



あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

われら同胞編集委員一同

## 【編集人】

社会福祉法人はらからの家福社会

〒185-0021

東京都国分寺市南町 3-4-4

TEL 042-323-5637

FAX 042-328-3240

E-Mail [harakara@jcom.home.ne.jp](mailto:harakara@jcom.home.ne.jp)

## 【発行人】

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072

東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102

【定 価】 ¥120

